
日本村落研究学会 研究通信

(No. 189 1997. 9. 30)

(事務局) 玉真之介、山下祐介、森川辰夫、佐藤三三、渋谷長生、武田共治
〒036 弘前市文京町3 弘前大学農学部玉真之介研究室
TEL(0172)39-3829 FAX(0172)39-3831 stama@cc.hirosaki-u.ac.jp
郵便振替口座 02340-3-25785

第45回村研大会特集号

- | | |
|---------------|-----------------------|
| <1>第45回大会案内 | <4>第10回農村社会学世界会議のお知らせ |
| <2>第45回大会報告 | <5>学会事務局より |
| <3>第45回大会報告要旨 | <6>会員異動 |
-

第45回(1997年度)大会案内

- 大会日程 : 10月23日(木) エクスカーション:12時30分 越後湯沢駅発
24日(金) 大会第1日:8時30分~17時
25日(土) 大会第2日:8時30分~15時30分
 - 大会会場 : 「グリーンピア津南」 〒949-83 新潟県中魚沼郡津南町秋成
 - 宿泊所 : 同上
 - 交通ルート: JR線 東京から上越新幹線「越後湯沢」下車
新潟から上越新幹線「越後湯沢」下車
飛行機 大阪・名古屋・福岡・沖縄・札幌・函館→新潟空港
新潟空港からバスで新潟駅(30分)→上越新幹線「越後湯沢」下車
○越後湯沢駅からは専用送迎バス(60分) 専用バス時刻表は参加申込者に後日連絡します
自動車 東京から関越自動車道利用で石打IC、国道353号経由で約3時間。
 - 参加費用 : 大会参加費: 3,000円(学生 2,000円)
エクスカーション参加費: 3,000円(学生 2,000円)
宿泊費(1泊2食): 10,000円(学生10,000円)
懇親会費: 4,000円(学生 3,000円)
昼食費 1,000円(学生 1,000円)
 - 大会事務局 : 田野崎昭夫、吉沢四郎、古城利明、大須真治(以上中央大学)
佐藤康行(新潟大学)
- 連絡先 : 吉沢四郎(中央大学商学部) TEL

E-mail shirosi@tamacc.chuo-u.ac.jp

大会報告案内

[10月24日 午前の部] 8時30分～11時50分

自由報告セッションⅠ 歴史と社会変容について

座長 岩本由輝（東北学院大学）

①大澤幸一郎（早稲田大学大学院）

昭和期村落社会における生活と其の変化

－革新的営農（洋菊栽培）採用をめぐる長野県諏訪富士見町瀬沢新区の事例－

②高田和知（早稲田大学）

産業組合職員の意識と行動－産業組合を支えていたもの－

③久保美紀（東北農業試験場）

民俗行事の伝承過程の変容

自由報告セッションⅡ 山村過疎問題について

座長 大内雅利（明治薬科大学）

④佐久間政広（東北学院大学）

山村における住民生活の構造－宮城県七ヶ宿町横川地区の事例－

⑤山本 努（広島県立大学）

過疎地域における集落崩壊の現段階規定と過疎研究の課題

⑥田野崎昭夫（中央大学）・築山秀夫（長野県短期大学）

過疎地域の諸問題と自治体の対応

[10月24日 午後の部] 12時50分～17時00分

大会テーマ・セッション： 現代日本の山村再生問題－21世紀への課題と展望をめぐって－

座長 大野 晃

北見工業大学

報告1)松岡昌則（秋田大学）

山村生活の変貌と村落組織

2)玉里恵美子（高知女子大学）

山村の高齢化と地域福祉

3)大川健嗣（山形大学）

山村自治体の再編と地方分権

4)中道仁美（愛媛大学）

農山村におけるグリーンツーリズムの展開

5)石井啓雄（駒沢大学）・榎澤能生（早稲田大学）

スイス・オーストリアの山岳地域政策と日本

[10月25日 午前の部] 8時30分～11時20分

自由報告セッションⅢ 家族と女性について

座長 山中美由紀(龍谷大学)

⑦川手督也(東北農業試験場)・西山未真(日本学術振興会特別研究員)

家族経営協定の推進と女性農業者の自立

⑧中澤進之右(東京福祉専門学校)・奥山正司(十文字学園女子大学)・小坂啓史(武蔵大学大学院)・玉偉(中国社会科学院日本研究所)・許麗津(一橋大学大学院)

農村婦人の老親扶養と被扶養意識-後継者妻(新潟・山形両県における日本人およびアジア系外国人)を対象として-

自由報告セッションⅣ 地域づくりとその主体について

座長 小内純子(札幌学院大学)

⑨山本昌弘(鯉淵学園)

東北水田地帯における農業構造

⑩重岡 徹(農村環境整備センター)

農村の景観形成と美しい村づくりについて

⑪堀越孝善(農業総合研究所)

農政の推進主体としての市町村組織

[10月25日 午後の部] 12時30分～15時30分

「中山間地における村づくりのあり方を問う」研究シンポジウム

座長 : 吉澤四郎(中央大学)

報告1)伊藤忠雄(新潟大学)

中山間地における農業・農村振興の課題と方向

2)大橋欣治((社)農村環境整備センター)

日本における中山間地域の現状と対策

3)藤木 剛((株)マウンテンパーク津南)

津南町における町づくりの展開と推進主体

コメンテーター: 青木辰司(東日本国際大学)

協賛/後援団体: 新潟県農協中央会、(財)21世紀村づくり塾、(社)農村環境整備センター、

農林中央金庫/J A 津南町、津南町役場、長野県農協中央会、新潟県庁、新潟

日報、(社)農山漁村文化協会、(財)富民協会

シンポジウム事務局: 佐藤康行(新潟大学)

連絡先: 950-21 新潟市五十嵐2の町8050

TEL 025-262-6671 Email yasuyuki@hle.niigata-u.ac.jp